



気軽に話し合おう

みんなで考えよう



2月号

読書会のでびき

JA女性組織版



(一社)家の光協会



気軽に話し合おう

12~25ページ  
「おうちで作る 絶品から揚げ」より



下味、漬け時間、粉、肉の部位、揚げ油の温度など、それぞれの特徴を一挙公開し、究極のレシピを考案しました。また、よくあるお悩みにもじっくりお答えします。

監修者の料理家 上島亜紀さんをお招きし、2月にライブ配信でオンライン教室を開催します。集まって視聴してみたいかがでしょうか。料理教室で作ってみるのもよいでしょう。



気軽に話し合おう

50～53ページ  
「手芸 くるみボタンのストラップ」  
より



端切れで包んで作るくるみボタン。ストラップのほか、ゴム紐に縫い付ければ、手帳をまとめるバンドも作れます。  
衣類の断捨離に、着られなくなったお気に入りの服の生地で作るのもおすすめです。お孫さんが着ていた服で作れば、家族の思い出の品に。皆さんで持ち寄って作ってみましょう。



気軽に話し合おう

106～112ページ  
「わが子に贈る 創作童話  
第36回 家の光童話賞」より



1月号で発表した「第36回 家の光童話賞」の優秀賞受賞作品「どろんこかいじゅうは田んぼで手をふる」です。

皆さんで音読してみましょ。声に出して読むことも読書会の醍醐味です。少人数であれば、ひとりずつ1段落ごと読む輪読という方法もあります。





気軽に話し合おう

115~121ページ  
「2週間で暮らしが変わる  
断捨離ダイアリー」より



断捨離、始める前から諦めていませんか？ そんな方は、まず「片付けのエンジン」を温めることから始めましょう。そのための2週間の断捨離ダイアリーをご用意しました。

「不要品の見極め」に関するアイデアや悩みを話し合ってみましょう。また、皆さんで日にちを合わせてダイアリーに取り組んでみませんか？ やる気維持にもつながるはずです。



## 気軽に話し合おう

136ページ  
「キーワードで学ぶ  
JA女性組織ヒストリー 第6回」より



「世代別・目的別活動」が今回のテーマです。JA女性組織が活動の輪を広げるのに貢献したのが、このグループ活動です。家の光ネット「JAのみなさまへ」の記事活用グループのページからダウンロードできる『楽しい予感 46号』でも、グループ活動の魅力をご紹介しています。つながりづくり強化の参考にぜひ併せてお読みください。

みんなで考えよう



60～65ページ  
「第19回ザ・地産地消家の光  
料理コンテスト結果発表」より



今回は「冷めてもおいしい 家庭料理」と「スイーツ」の2部門で開催した同コンテスト。JA全国女性協創立70周年記念の特別賞もありました。

作品の数々の中で、あなたが気になるものはどれですか？ また、作品たちをヒントに、お住いの地域の食材でできる料理を考えてみましょう。

みんなで考えよう



68～71ページ  
「令和3年度 フレミズ活動  
“わたしの一步” 作文コンクール」  
より



最優秀賞に輝いた J A延岡女性部 甲斐亜季さんの作品です。嫁いだら入部するのが当たり前だった時代が終わり、部員減少が深刻化していた女性部。そこで甲斐さんは、フレッシュミズの復活を決意し、立ち上げました。J A職員と共に助け合い、イベントを開催する経緯が記されています。

あなたの参考になる部分、共感する部分はどこでしたか？



みんなで考えよう



124～127ページ  
「こころ亭久茶の  
相続&マネー高座」第3回より



「不動産は相続争いになりやすい!?!」が今回のテーマです。分けることのできない不動産は、相続争いの筆頭です。特に、家を出た子と跡継ぎ的役割を担った子との間で確執が起こらないようにするには、生前の対策が必須です。

記事を読み、我が家に争いの火種がないか考えましょう。

みんなで考えよう



140～141ページ  
「JA自己改革 現場からの風  
第15回」より



福岡県 JAみなみ筑後 いちご部会の安達彩さんは、育児と仕事の両立のため、故郷へ戻り経営者に。女性対象の栽培研修会を企画したところ、大きな反響があったそうです。

研修会や学習会という方法は、意欲的な人材を集める手段として有効です。あなたなら、こういった会合に参加してみたいでしょうか？

みんなで考えよう

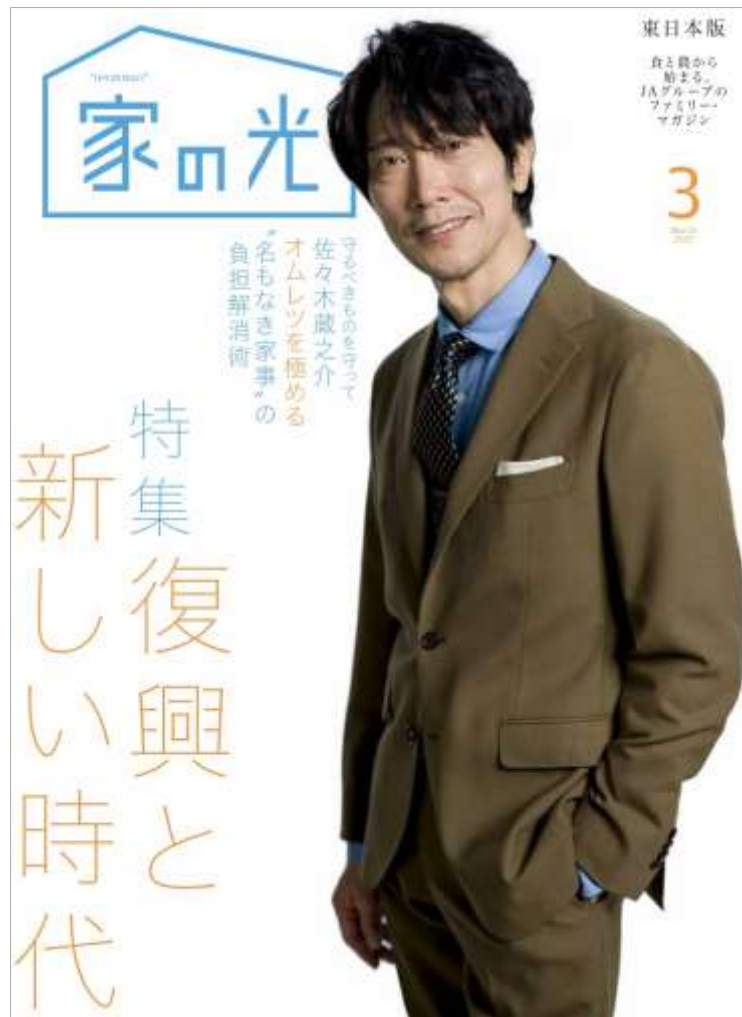


146～149ページ  
「まんがルポ  
みんなでできた! JA女性組織」より



JA鳥取いなば女性会 鳥取支部の河内こわらびグループの活動を紹介しています。当グループは農事組合法人化していますが、グループ結成のきっかけは、身近な山菜の出荷でした。そこから活動が多角化し、地域のために意欲的に活動されています。

あなたの“できたらいいな”と思う活動は何でしょうか？



表紙は 佐々木蔵之介さん



## 3月号の お知らせ

### <特集1>

#### 復興と新しい時代

～多様な課題と向き合う被災地の今

SDGsやコロナといった新しい課題を、被災地はどう捉えているのか。わたしたちが実践すべきことを探ります。

### <特集2>

#### 「名もなき家事」負担の解消法

見えにくい家事の負担は、増えるほどストレスに。それらをリスト化し、分担化、省略化の方法を紹介します。

### <手芸>

#### 古ジーンズで作るミニバッグ



# 読書会メモ

202 年 月 日

会合名：

参加者： 名

読んだ記事『家の光』 年 月号 ページ「

」

感想、意見、話し合った内容などを自由にメモしておきましょう